

3・1ビキニデー 3・8世界女性デー  
3・10東大空襲 3・11東大震災



日本共産党北区議会議員  
**さがらとしこ**  
区政レポート

日本共産党議員団

2021.3.11.No.1787

御相談はお気軽に

TEL FAX とも **3905-0970**

さがらとしこ事務所

赤羽北3-23-17

(バス停「赤羽北3丁目」マガシシティ近く)

## 高齢者施設などの職員・従事者のPCR検査は、一斉と週一回の定期検査を実施することに。

①3/24の本会議傍聴について、3/11の予算特別委員会の中では、通所サービス職の方や方向介護のヘルパーさんなどへのPCR検査。そして、保育園や学校の先生、学童クラブなど子どもたちにかかわる職員の一斉、定期的検査を行政検査として行うよう、求めます。

※一週回の定期検査は、「検査キットを使った液検査をすすめるため、準備しています」と北区。

もちろん、障害者施設やグループホーム、シルバー職員も。

## 羽田新ルート 落下物が心配

①日本共産党は、運行中止を一貫して求めています。しかし、この間、昨年12月4日、ことし2月21日と、日本航空904便のエンジン損傷、米国ではユナイテッド航空による住宅への被害も。

3月10日、北選は国交大臣に要請文と提出し、情報公開と対策強化を。



**そねはじめ** 都議と  
**さがらとしこ** 区議

**まちかど\*トーク** 2021年  
パート3

\*皆様からのご質問、ご要望におこたえします!

\*「宣言」は2週間延期されたけれど...

新型コロナとワクチン接種のとりくみ...

\*北区児童相談所と赤羽駅前のまちづくり...

\*都議会や区議会のホットなご報告。お話しします。

3月13日(土)

- ①1時45分～ 都堂桐ヶ丘団地東地区・E33号館近く
- ②2時15分～ 都堂赤羽西5丁目アパート
- ③2時45分～ 桐ヶ丘郷小学校の西側

3月14日(日)

- ①午前10時30分～ 都堂桐ヶ丘団地N1地区とN2地区の間
- ②11時～ 赤羽北3丁目・さがら事務所近く
- ③11時30分～ 赤羽台団地・マルエツ前

<連絡先>

日本共産党北区議会議員さがらとしこ事務所

ご相談どうぞ ☎/FAX 03-3905-0970

〒115-0052 赤羽北3-23-17 赤羽北3丁目バス停すぐ

## 赤羽区民センター 旧桐ヶ丘分室 新年度も6月に臨時窓口が

開設へ。都営・区営住宅居住者の方は、

**新年度におしよ** 毎年の収入報告があります。

昨年と今年度は、それぞれ1,500世帯以上の利用がありました。3/9の予算委員会と、さがら議員の求めに区が答弁。しかし、税証明と印かん証明などのみ。住票など移動系は別紙。

## 4月から7月にかけてN地区の移転

①建替えによる移転で、N14～N54までの方々約450世帯の引越しが川原次第すすめられ、

②多くの方は、都立桐ヶ丘高校のとなりの新築へ。



4月桜の花がすね。桐ヶ丘2丁目、都堂桐ヶ丘団地のN40号棟のところ。桐ヶ丘体育館の近くです。10年まえの東日本大震災のあと、防災服姿の私は、この花にいやされたことを思い出します。2021.3.2. 赤羽北3丁目

北区生活環境部 北区清掃事務所  
では、「粗大ゴミ受付センター」の混雑に伴って、臨時受付センターを開設しています。

新規の受付のみ・月・金 AM8:00-PM7:00 0570-03-7000

2011年3月11日に起きた東日本大震災から10年。福島原発事故による避難者は、福島県の発表でも3万6000人以上といわれています。そんな中、避難指示区域外から東京に避難した鴨下全生さん(18)は、今も原発事故による分断と差別に苦しんでいます。思いを聞きましました。

(加來恵子)



ンピック自体が延期されましたが、放射能被害は今も続いていますし、復興という言葉で原発事故をなかつたことにはいけないと思っています。

一方で、現在稼働している原発が57基中、4基に食い止められているのは、福島第1原発事故により、多くの人々が原発の危険性に気づき、訴訟や原発再稼働に反対して行動した結果だと思っています。

教皇に訴え

避難後、死にたいと思う

たまたまコロナ禍でオリ

福島県の避難指示区域外避難者

鴨下 全生さん(18)



# 分断越え連帯したい

2021.3.11 「さがらしポスト」 No.1787.

~ 2021.3.10付 「Lighthouse 赤旗」 18th号 ~

ほとどのいじめや差別に苦しみ、小学校卒業をきっかけに、過去を隠して生きるようになっていました。しかし、自らを偽って生きるつらさにも耐えられなくなり、16歳の時に、そのつらさをつづった手紙をローマ教皇に送りました。

2019年にローマ教皇が来日した際には、広島、長崎の訪問だけではなく、東京で(地震、津波、原発事故の)三重災害を経験した被災者との集いが開かれたので、そこで原発事故の被害を語り、分断や被ばくの無い未来を訴えました。

被害いまま

核兵器禁止条約が発効しましたが、日本政府の不参加が、大きな議論になっていないことを残念に思います。禁止条約の6条、7条には、被害者支援と環境回復が明記されています。国が禁止条約に参加しない理由が、ここにもあるように感じます。「広島の無い雨」訴訟の地裁判決で原告が勝訴しても、国は被害者として認めていません。福島原発事故の責任と同じ構図です。

しかし集会直後、会場にいた被災者から「避難してきた僕らはまだ幸せ」とはどういう意味だ。私は今も福島県に住んでいる」と怒りに満ちた声で言われ、返事ができず、その夜は39度の熱と胃の激痛に苦しみました。



原発事故の半年前にオウラと空心菜畑の前でポーズをとる全生さん(右)と弟「福島県いわき市内

核被害に10年の節目はありません。セシウム137の半減期は30年です。被ばくを逃れ、避難を続けることも、被害者として生きることも、今も続く被害です。

今後、節目ができるのであれば、それは国が国策の失敗を認め、被害者にするべき賠償をし、原発政策を改めたときだと思います。

(写真は本人提供)

原発なくそう  
in 飛鳥山

この日は、1モトによる参加がよびかけられています。3/14日のごご1時半~王子駅前三角公園にて



福島沖地震への支援募金への協力をいただきました。ありがとうございます。

東日本大震災から10年を迎える。2月13日(土)の深夜のこと。東日本の余震がまだまだ。このようにつづいていることに。びっくりしましたが、あらためて鴨下さんの言葉が胸にせまります。